

平成27年2月16日

在阪放送局各位

維新の党

幹事長 松野頼久

平素のご高配誠にありがとうございます。先日、皆様に藤井聡に関するお願いを送付させて頂き、各放送局におかれましては、私どもの公平中立を求める意図をお汲み取り頂いている事と存じます。

この度は、テレビ番組などでは中立を装いながら言動不一致である藤井氏の行動は有権者及び住民投票を大きく歪める事になり得ると考え、下記事由により各放送局におかれましては、再度今後住民投票が終了するまで各報道姿勢にご留意いただきたくお願い申し上げます。

記

藤井氏は自民党の東成区の反維新、反大阪都構想のタウンミーティングに参加する。

(参考 別紙)

<https://www.facebook.com>

中立を宣言した事実はない (<http://satoshi-fujii.com/150401-4/>参照)。にも拘わらず、それを理由に、「極めて悪質」と非難し「藤井を出演させるTV局の責任は重大だ」と断定し、住民投票が終わるまで藤井のTV出演させないように、TV局に実質的圧力を加えている。政治権力者が虚偽を根拠に圧力をかけるのは、法的に許されるのか？

しかし、維新の会のタウンミーティングや討論会には参加しない。

藤井氏は反維新、反大阪都構想のスタンスは明確であるにもかかわらず、関西テレビの番組などでは、中立を宣言している。

中立を宣言している者が述べる意見は客観的・公平的であると聴衆は錯覚する。これは明らかに公平性を害する。

番組内で広く視聴者に虚偽の中立を宣言し、中立を装いながら、反維新、反都構想の政治活動をする事は許されない。極めて悪質である。

このような活動をしている藤井氏が、維新の会、大阪都構想に中立をわけがなく、番組内で虚偽の中立宣言をした藤井氏を出演させる放送局の責任は重大である。

政治権力者が「事実でないこと」を根拠に「悪質だ」と断じ「TV出演を控えるように迫る」ということが許されるなら、藤井でなくとも、全ての人間が、政治権力者からTV出演できないように圧力をかけられることが正当化されることになる。